

草津市総合計画策定プロジェクトチーム会議

(リーディングプロジェクト研究チーム 第4回)

日時：平成21年5月18日（月）

18時から

場所：401会議室

1 開会

2 議事

リーディングプロジェクトの研究について

3 閉会

資料

資料1：リーディング・プロジェクト 中間状況報告

■ リーディング・プロジェクト 中間状況報告

Project1: くさつ感動交差点^{ジャンクション}プロジェクト (仮題)
 「中心市街地の活性化から、まち全体の魅力アップへ」

<p>ゴール</p>	<p>○ まちなかは水と緑がいっぱいで、さまざまな歴史資源が生かされています。 ○ 洗練された印象の都市空間に、さまざまな人が訪れ、集い、行き交って、にぎわいをつくっています。 ○ 子どもからお年寄りまで、誰もが草津への愛着を持ち、文化かおるまちなかに憩い、楽しんでいます。</p>		
	<p>「うるおい」</p>	<p>「にぎわい」</p>	<p>「いこい」</p>
<p>中期の マイルストーン</p>	<p>○ 市民が育てた花や緑がいきいきと育ち、新旧草津川を始めとして位置づけた「うるおいネットワーク」が充実してきています。 ○ せせらぎや木陰をはじめ、訪れた人が記念撮影をするランドマークがあちこちにあります。</p>	<p>○ 季節ごとに開催されるまちかどコンサートが市外からも人を呼び、盛り上がっています。 ○ 桜をはじめとした、季節を代表する名所があちこちにあり、人気のイベントが増えてきています。 ○ JR 駅前や商店街などに特色ある商店等も加わり、活気づいています。</p>	<p>○ まちなかに憩う人の間に語らいが生まれ、新しい市民グループが育っています。 ○ それぞれの市民グループが協働し、さらなる「まちなかのいこい」を生み出しています。</p>
<p>短期の マイルストーン</p>	<p>○ 市民一人ひとりが緑を育て、まちのうるおいをつくる取り組みが軌道に乗っています。 ○ 草津川廃川敷地の新しい活用が始まっています。</p>	<p>○ わかりやすく、安全に楽しめるまちとなっています。 ○ 大学生などが、まちなかを活動の場として積極的に生かし、地元住民との多様な交流活動が生まれています。 ○ JR 草津駅前の再整備が端緒についています。</p>	<p>○ 居心地のいいスペースが増えて、従来以上に、いろんな人がまちなかを楽しんでいます。</p>
<p>事業</p>	<p>○ 「うるおいネットワーク」整備事業 → 市民会議の開催 → 「うるおい草津・ふれあいマップ」づくり等 ○ まちなか水緑 5 倍増事業 → 学校教育や住屋上緑化の取り組みと連携した、苗木・芝生等育成プログラムの整備 → 並木道や親水空間・せせらぎの整備 等 ○ ペイントくさつ推進事業 → 子ども・学生などによる、まちを彩る取り組みの展開 等 ○ まちなか低未利用地活用事業 → 草津川廃川敷地活用計画の策定 → 西友跡地の暫定利用としての公園整備 等</p>	<p>○ まちなか・にぎわいプロモーション事業 → にぎわいコーディネーターの配置 → まちかどパフォーマンス・スペースの整備 等 ○ 「もてなし力」アップ推進事業 → 統一感のあるサイン、インフォメーションの整備・充実 → ビジターズ・ビューローくさつの設置 等 ○ 大学のまち推進事業 → 大学との包括協定に基づいた、まちなか活性化に係る社会実験の実施 等</p>	<p>○ まちなかくつろぎ空間整備事業 → 歩道や商店街等の整備における「ホッと一息」コーナーの整備 → 市民参加による、間伐材や廃家具等を利用したストリート・ファニーチャーづくり → 空き店舗などを利用した「まちなか誰でもサロン」「子どもサロン」等の設置 等 ○ まちなかバリアフリー推進事業 → 段差解消・手すり設置、多目的トイレの設置など、まちなかバリアフリー化の促進</p>

第2回リーディングプロジェクト研究のメモ

○は、黄色付箋紙の内容

(基本的な資源)

- ・ 客数多い駅
- ・ インターチェンジ
- ・ 旧草津川の跡地利用を含め、市営住宅跡地計画、さくら広場、公園
- ・ 草津の良いイメージ①便利②緑③水(琵琶湖) これらのバランス。このままでは①だけになってしまう

(ゴールのイメージ)

- ・ スマートなイメージの街(景観づくり)
- ・ 洗練された印象のまちなみ
- ・ 都市景観を整える
- ・ まちなか賑わい草津(観光都市草津)
- ・ 10分間ぶらぶらできるストリート作り
- ・ 街中には楽しみがある!!(24時間眠らないまち)
- ・ 地下街がある
- ・ JRトンネルのないまち(隧道(草津町、××町)) 橋とイルミネーション

(緑のネットワークづくり)

- ・ 連続した良好な景観(自然) 高島のメタコセポイア?ポプラ?
- ・ 季節が感じられる緑をたたえた公園に整備し、運動が出来るように
- ・ 今ある桜を生かした大きな公園があり、市民の憩いの場になる
- ・ 親子でふれあえる公園
- ・ 淀川公園のイメージ?→草津川の公園利用(ウォーキングコース、家庭菜園の貸出し)
- ・ 家庭農園(誰でも自由に使える)
- ・ 旧草津川はやっぱり緑。新たな桜
- ・ 街中に市民の証(名前)が残る。草津川の跡地利用を市民ファンドで
- 緑の木プレゼント事業。市民に無料でプレゼント。植栽の場所
- 花を植える(農高の方との連携、体験農園)
- 屋上緑化で苗を育成し、草津川等に植栽する
- 子どもが生まれた人が植えるプロジェクト
- 実のなる木を市民が一本以上植える
- ・ 草津川で Oh!湖まらそん

(歴史のネットワークづくり)

- ・ 草津市の歴史、史跡のネットワーク(歴史街道のようなもの、遍路)
- ・ 地藏さんを通る、つなぐ、地藏さんをはなばなしく飾る。回遊できる様なもの
- ・ 天井川を残す方向での活用

(まちなかのうるおいづくり)

- ・ 駅前E地区、再開発、駅前庭園
- ・ 商店街の中に広場をつくり、緑をつくる
- ・ 街中には安全快適で歩けるコースがある
- ・ 歩いて通るところに、ベンチとテーブル
- ・ 子供の遊べる広場、施設のあるまち
- ・ 空き店舗、高齢者憩いの場所づくり(椅子、ベンチ)
- 間伐材を利用して、ベンチ、花壇等を作る
- ・ 駅の中に潤いがある。水、緑など
- ・ 街中に花畑がある

- 草津用水の水を利用したまち中せせらぎ（川）空間
 - ・ 水路を作る
- 町や学区内のメイン道路に花を植える（地域活動で）
 - ・ 道路には必ず、緑がある
- 湖南農高の花を市内に配布する
- すでにある水路をせせらぎ助成事業（地元補助）
 - ・ 1,2 番線に歩道を
- 子供の絵プロジェクト（トンネルに）
 - ・ シャッター通りの解放（絵など）
 - ・ 自然エネルギーの活用
- まちの看板を子どもたちがつくるプロジェクト

（まちなかのにぎわいづくり）

- ・ 商店街の活性化。ショップとか、若者と文化の活気にあふれる
- ・ 行列のできる店が並ぶ通りがある（食べ物屋とか）
- ・ ありそうで、欲しい物がない？→駅前？ショップの誘致。服でも何でもよいが、ここに来ればこれはさうとか、ひとつの物に特化した所をつくる。
- 学生に対して、空きテナントを貸す（ギャラリーやショップ）
- FM 局前の朝市を開く
 - ・ 街中でコンサートが出来る
 - ・ 駅前の利用の高度化（若者の集まり）他にない “ミナクサ”
 - ・ コンパクトシティー 協働 駅前、再整備、東口デッキ拡幅、西口駅裏線
 - ・ E 地区公園と再開発

（コミュニティ FM の活用）

- 映画、TV、ラジオのロケーション・プロジェクト（ビジターズ・ビューローくさつ版）

（その他）

- 南草津に新快速を停める
- ビジネス向きのホテルが南草津にない
 - ・ ××のある町、市の情報発信ができるような美術館
- 駅前に図書館（小さいものでもよい）空きテナント
- ブロードバンド、全市ネットワーク

Project2: 快遊生活タウンプロジェクト（仮題）

「市内の円滑移動の確保と地域生活の保障」

<p>ゴール</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市全体がコンパクトシティであり、身近なところに日常生活に必要な基本的な条件が整っています。そして、公共交通機関などにより、市内のあちこちを自在に移動できる手段が揃っています。 ○ バリアフリーの道づくりが進み、また、パーク&サイクルライドの仕組みも充実して、市民も来訪者も、誰もが徒歩や自転車などで快適に市内を巡ることができます。 	
	<p>「コンパクトシティ」</p>	<p>「道路・公共交通」</p>
<p>中期のマイルストーン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ コンパクトシティとして、良質で持続可能な都市構造が形成され、これを継承していく市民の気風が育っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活道路のバリアフリー化がさらに進んでいます。 ○ サイクリング・ロード・ネットワークが概ね完成し活用されています。 ○ 新たな交通体系の市民による利用が始まっています。
<p>短期のマイルストーン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小地域単位での生活利便性向上のための課題が整理され、対応する取り組みがモデル地域で始まっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主要な生活道路のバリアフリー化が一部進んでいます。 ○ サイクリング・ロード・ネットワークが計画され、一部の整備が始まっています。 ○ 総合的な交通体系整備の方針が定まり、具体的な整備に向けて実証実験などの取組が始まっています。
<p>事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ コンパクトシティ化推進事業 <ul style="list-style-type: none"> → 生活利便性調査の実施（生活行動範囲・商圈等の調査等） → 生活施設の規制と誘導、配置に関する調査・研究 等 ○ お出かけ支援サービス整備事業 <ul style="list-style-type: none"> → 商店街・大規模商業施設、銀行、行政等の連携による、外出支援が必要な人の買物等のための仕組みづくり 等 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインの道づくり推進事業 <ul style="list-style-type: none"> → 歩道段差の解消 等 ○ 自転車が気持ちいいまちづくり推進事業 <ul style="list-style-type: none"> → サイクリング・ロード・ネットワークの整備 → 民間事業者との連携による、パーク&サイクルライドの仕組みづくり → 電動アシスト自転車によるサイクルライドの仕組みづくりの検討（広告付き、充電ステーション整備など） 等 ○ 総合交通体系再編事業 <ul style="list-style-type: none"> → 乗り合いタクシーやBRTなどの新たな公共交通整備を含めた交通体系の研究 → 自宅と商店街や福祉・医療施設などの生活施設をオンデマンドで結ぶ公共交通の研究 → 交通案内の充実による、来訪者利便性の強化 等

第3回リーディングプロジェクト研究のメモ

（ゴールのイメージ）

- ・ 車に頼ることなく生活できる街
- ・ 公共交通機関で動けるまち（路面電車とか）
- ・ 高齢者の人が楽しめる社会（福祉バスの充実、障害者など）

（歩いて暮らせる）

- ・ 半径 2km での生活圏の確保
- ・ 高齢者向けコンビニ

（便利な公共交通）

- ・ クリーンエネルギーを使った交通体系。超高齢化社会に向けた、中心部とのアクセス交通の整備
- ・ 公共交通機関のネットワークの充実（乗り継ぎなど利用しやすいまちに）
- ・ バスやオンデマンドで好きなところに移動できる
- ・ 自家用車がなくても気軽に移動できる交通網整備
- ・ BRT 等、白線誘導バス
- コミュニティタクシーの整備
- 福祉タクシー（無料）で気軽に中心市街地へ
- 市内循環バス（タクシー）網の整備
- 目的地限定コース（保育施設、老人施設、病院循環、商業施設など）バスに広告をラッピングし、宣伝料で運営。協力企業への税優遇。
- バスの大きさは、生活道路内に停留所が設置できるようにコンパクトに
- 湖上交通の復活。常磐、山田。アクセス、コストが課題

（自転車利用の促進）

- レンタサイクル、駅前と各地域の拠点を結ぶ
- 気持ちよく走行できる自転車道（市民センター中心）
- 無料サイクル制度。リサイクル自転車活用。地区に補助
- ・ 歩きたくなる、サイクリングしたくなる街なみ整備（空間）

（環境負荷の低減）

- 電気自動車だけが（エコカー）道路や駐車場を活用できる

（バリアフリー化の推進）

- 段差のない道路
- ・ 少なくとも不便を感じないバリアフリー、ユニバーサルデザイン

Project3: 近隣 SAFE プロジェクト (仮題)

「さまざまなライフステージの人が安心して暮らせるまちづくり」

<p>ゴール</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 充実した地域コミュニティがあり、気心知れた顔なじみの関係のなかで、地域生活の安心が守られています。 ○ 子どもを生き育てやすい環境が充実しており、若い世帯が安心して生活しています。 ○ 高齢期を迎えた人が活躍できる場や機会が多く、「生涯現役」の市民としての生活があります。 ○ 住民の手によって良質な住宅や良好な住環境がつくられ守られて、「住みたい」「住み続けたい」まちとしての価値を、常に将来世代に引き継いでいます。 	
	<p>「コミュニティ」</p>	<p>「市民文化」</p>
<p>中期のマイルストーン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民自治の基盤が着実に組み立てられて、自主的なまちづくりの取り組みがさまざまな展開されています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多くの市民が「市民文化」に自ら関わっており、シビック・プライドが育ち始めています。
<p>短期のマイルストーン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小地域におけるまちづくりの意識が高まり、モデル地域で地域住民による地域づくり計画が策定されています。 ○ 企業の協力も進み、地域福祉活動の担い手に、従来にない広がり生まれ始めています。 ○ 小地域間のコミュニケーションが活発となり、相互に補いあう関係も生まれてきています。 ○ 子どもや学生なども、気軽に地域通貨を活用しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各月「〇〇の日」が制定され、係る取り組みが展開され始めています。 ○ 市民講座の受講者が育ち、新たな市民文化の担い手として活躍を始めています。 ○ コミュニティ FM 発の地元アーティストが、市民の人気を集め始めています。 ○ まちかどに市民の手による「作品」が設置され、優れた建築が顕彰されています。 ○ 多文化共生の意識が高まってきています。
<p>事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民自治基盤強化事業 <ul style="list-style-type: none"> → 小地域におけるコミュニケーションの促進と市民自治基盤の強化 → 地域づくりアドバイザー派遣制度の創設 → 市民センターなど、コミュニティ施設の体系化 → 地域福祉活動推進体制の強化 → コミュニティ FM を活用した、市民間コミュニケーションの充実等 ○ 住まい魅力向上事業 <ul style="list-style-type: none"> → 住生活を豊かにし、資産価値を守り高めるための情報提供の充実 → 2 世帯住宅リフォーム等に関する情報提供の充実 → 学生など若者定住のインセンティブづくり 等 	<ul style="list-style-type: none"> ○ シビック・プライド醸成事業 <ul style="list-style-type: none"> → 市民協働による、各月「〇〇の日」の制定と市民運動の展開 → 市民活動成果の顕彰の充実 → 携帯電話やインターネットなどに対応した、情報コミュニケーションの充実 等 ○ コミュニティ FM 活用事業 <ul style="list-style-type: none"> → コミュニティ FM などを軸とした、地元アーティストの育成 → コミュニティ FM の多言語対応 等 ○ 生涯学習推進事業 <ul style="list-style-type: none"> → 大学等研究機関の活用による、市民講座の充実 等

第2回リーディングプロジェクト研究のメモ

(コミュニティFMの活用)

- FM局フル活用。ストリートミュージシャンを育てる番組とか→リスナーで作る。プロジェクトチーム、まちづくりを考えてもらう。成果はFMで
 - ・ FM草津プロデュース。オアシス、ミニマーケットでコンサート会場
- FM草津→立命おまかせコース
- 草津音 sen プロジェクト

第3回リーディングプロジェクト研究のメモ

(ゴールのイメージ)

- ・ 働いてオフタイムは文化的生活ができる
- ・ 住むことに楽しみがある
- ・ 住みたい街くさつ（子ども、お年寄り）
- ・ まちの魅力を住民たちが高めていく（そのような行動がしやすい状況を作る）

(住宅・住環境、住生活の向上)

- 若者の定住を促す。ふるさと草津Uターン施策
- 地区計画、景観協定等の策定
- 資産（不動産）価値を下げない取り組み。区画制限（50坪以上など）
- 次の世代にも更新できるコミュニティ

(身近な子育て環境の充実)

- ・ 子どもを育てやすい環境
- ・ 子どもを産むことで何らかの恩恵を受ける
- ・ 子どもが安全に遊べる場所がたくさんある。
- ・ 公園、グラウンド、広場が近くにある
- ・ 子どもを持つ世代が集まる要素をもつまち（習い事、遊び）
- ・ 待機児童ゼロのまち
- ・ 出生率一番のまち（滋賀、日本）
- お見合いのあっせん

(高齢化への対応)

- 高齢者が活躍できる場所を増やす

(地域連帯の醸成)

- ・ 町内会やコミュニティの人は全員知っている
- 市民センターや草の根ハウスに来れば、楽しみがある
- ・ いろんな世帯が交流できるまち

(文化・教育環境の充実)

- 大学を生かした、文化講座、教養
- 立命館大学の市民向け講座の充実（まちなかで）学生とのコミュニケーションをはかる

(その他のアイデア)

- ××（タキシードの日、電気を消す日など）の日を市民提案で作る
- 若い世代の協力を促し、地域活動通貨の導入。（大学や高校の授業で）